

第2号様式（第3関係）

平成29年度第1回豊山町文化財保護審議会会議録

- 1 開催日時 平成30年2月20日（火）午前10時00分から
- 2 開催場所 社会教育センター2階 研修室2
- 3 出席者 豊山町文化財保護審議会委員
（役職及び氏名） 会 長：加藤 武
委 員：河村米光、小出 明、岡島ひかる
事務局：西川徹教育長、安藤憲司事務局長、石黒正規係長、
高木杏菜主事
欠 席：高橋 真
- 4 議題 (1) 豊山町の文化財保護行政について
(2) その他
- 5 会議資料 ・豊山町の文化財保護行政について ～資料No. 1～
・カラーコピーの写真
・書窓（郷土資料室のページ）
・生涯学習情報誌「生きがいタウン」No. 46
・豊山町の生涯学習 平成28年度のまとめ

6 議事内容

（司 会） 本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻より若干早いですが、みなさんお揃いですので、只今より平成29年度第1回豊山町文化財保護審議会を始めさせていただきます。委員のうち高橋委員におかれましては、出席できないという報告がありましたので、ご報告させていただきます。まず、資料の確認をさせていただきます。

～資料確認～

資料の落丁等はありませんでしょうか。もし、ありましたら、お申し出ください。それでは最初に、豊山町教育委員会の西川教育長よりごあいさつを申し上げます。

（教育長） おはようございます。平成29年度第1回豊山町文化財保護審議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

本会は町民のかけがえのない文化財を保護・啓発・普及等推進していくことを目的としております。教育委員会の諮問によって文化財の指定及び解除、また、文化財の保存活用を審議していきます。話は変わりますが、9月議会に町制50周年事業に豊山町史を作ってほしいという議会での要望がありました。また、12月議会では青塚古墳の歴史的価値についての質問や、昭和14年代の豊山町の街並みを模型で作ってみてはどうかという意見も挙がりました。住民の方が町の文化財や歴史に関心を持たれているのではないかと感じております。この審議会で委員様のご尽力をいただきまして、意義のあるものとなりますよう、よろしくお願いいたします。

(司 会) ありがとうございます。続きまして、委員の委嘱を行います。机の上に委嘱状を置かせていただきましたので、ご確認していただくことで、委嘱にかえさせていただきます。なお、任期につきましては、平成29年4月1日から平成31年3月31日までとなっております。よろしくお願いいたします。なお、本審議会の会議録は、要約いたしまして町ホームページに掲載させていただきますので、ご了承ください。今回は初めての審議会となりますので、簡単に自己紹介を行いたいと思います。

～自己紹介～

続きまして、会長・職務代理の選出を行いたいと思います。豊山町文化財保護条例第38条第1項により、委員の方々の互選となっております。どなたかご推薦があれば、願いたします。いかがでしょうか。

(委 員) 豊山の歴史に詳しい加藤委員が適任かと思います。

(司 会) 只今、加藤委員が推薦されましたが、いかがでしょうか。よろしければ、拍手でご承認ください。

(一同拍手)

(司 会) ありがとうございます。会長には加藤委員ということでご承認いただきましたので、よろしくお願いいたします。続きまして、会長の職務代理を会長からご指名いただくことになっていきますので、会長、ご指名の方をよろしくお願いいたします。

(会 長) 岡島委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(司 会) ありがとうございます。では、職務代理に岡島委員ということで、よろしくお願いいたします。それでは、会長から就任のごあいさつをいただきます。よろしくお願いいたします。

(会 長) ただ好きなだけで郷土資料室の面倒を見ている私を会長に指名していただき、ありがとうございます。文化財は先人達が残してきた形です。審議会は先人達が残してきたものを次に渡していく何らかの手助

けをするための会ではないかと思ひます。有意義な審議会になればありがたいです。よろしくお願ひいたします。

(司 会) ありがとうございます。それでは議事に移らせていただきます。取り回しは、同条例第38条第2項に基づきまして、会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

(会 長) それでは、議事を進めさせていただきます。最初に、(1)豊山町の文化財保護行政について、事務局より説明をお願いいたします。

(事務局) ～資料NO. 1に沿って説明～

(会 長) この議題につきまして、ご意見、ご質問はありますでしょうか。

(委 員) 文化財研究会から今年度の活動を報告させていただきます。会員数は44名です。研修会、学習会、8月には郷土資料室の資料整理として虫干しを、11月には放課後子ども教室で昔遊びを指導させていただきました。1月には子ども広場として、日本昔話のアニメを上映しました。また平成27、28年度に神社の案内板の設置を行いました。それに代わる事業として、町内15カ所の石仏等に名盤の取付を行います。来週に設置する予定です。この事業は実際に取り組んでみますと、苦勞の連続でした。と言ひますのは、石仏等は個人で管理するものもあれば、地域で管理しているところもあり、管理者が明確でないとし承を得るのになかなか進まないこともありました。また、この事業は今年度で終了する予定です。以上でございます。

(会 長) ご苦勞が多かったようですね。ありがとうございます。他に何かございますでしょうか。

(委 員) 文化財研究会の来年度の活動で何かお考えをいただきたいです。

(教育長) 町としては、50周年史についてですが、来年度から本格的に編さんに入ります。そのお手伝いとして文化財研究会にはご協力していただきたいので、活躍の場はあるかと思ひます。

(委 員) 50周年史ですが、例えば事務局をどのように構成するのかを伺ひたいです。

(事務局) 50周年史は平成30年度から平成33年度の4年間で編さんし、平成34年度に発刊を予定しております。体制といたしましては、トップに編さん委員会を設け、基本的な方針決め、進捗状況を管理していきたいと思ひます。また、編さんの協力委員として、文化財アドバイザーや文化財研究会の方には参画していただきたいと考えております。基本的に原稿の執筆に関しては業者に委託する予定です。専属というのは難しいですが、教育委員会事務局の中で1人担当を設けていく予定です。

(委員) 50周年史は、従来ある町史がベースとなって、見直しという形になるのか、あるいは全く違う何かが主体となるのか、どうなのでしょうか。

(事務局) 編さん委員会で決定したものではありませんが、現時点での事務局といたしまして、基本的には町制施行の昭和48年から現在までの50年について町史を新しく作成する予定です。従来のものについては検証を加えながら、修正箇所がある場合は修正し、その箇所も踏まえながらまずは50年間の部分を作成する考えを持っています。

(会長) 他にございませんか。

(意見なし)

(会長) ないようですので、全員の拍手によりご承認をいただきたいと思います。

(一同拍手)

(会長) 承認されました。それでは続きまして、(2)その他について、事務局よりお願いします。

(事務局) ～中之町の秋祭りの山車について説明～

(会長) ありがとうございます。現在進行中ということですね。せっかくだので、委員の皆様にもアドバイスでもいただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

(委員) 文化財として山車を鑑定する場合は、県の文化財保護室を通して専門の方を紹介していただく形になると思います。その場合、専門の先生への謝礼等について、また県文化財保護室と相談する必要もあるかと思いますが、また、文化財の云われ、作成者等明らかだと、より便利ではないでしょうか。中之町の方に聞きとりをするのも良いかもしれません。

(事務局) 今年の1月に県の文化財保護室に資料を送付し、専門の方に繋げていただくようお願いいたしました。現在、専門の方に資料は引き渡され、ご連絡を待っている状態です。

(委員) 地元の方への聞き取り調査は進められましたか。経緯など調べてまとめておくと良いかもしれません。

(会長) ありがとうございます。委員の方から、今後の進め方について貴重なご意見・アドバイスがいただけましたので、参考に進めていただければと思います。他は、よろしいでしょうか。

(意見なし)

(会 長) ありがとうございます。皆様の活発なご審議によりまして、意義深い審議会となりました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

(司 会) 本日はありがとうございます。お忙しい中をご審議いただきまして、誠にありがとうございます。これをもちまして、第1回豊山町文化財保護審議会を閉会させていただきます。

上記のとおり平成29年度第1回豊山町文化財保護審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成30年 3月 9日

会 長 加 藤 武

署名人 岡 島 ひかる